

# 温泉の効能について

温泉名 ——— 渋川温泉  
 源泉名 ——— きらめきの湯  
 泉温 ——— 66.5 °C  
 (調査時の気温 16.0 °C)  
 ゆう出量 ——— 549 ㍓/分  
 泉質 ——— ナトリウム・カルシウム - 塩化物温泉  
 pH値 ——— 7.6  
 知覚的試験 ——— 無色透明・塩味有

## 「渋川温泉・きらめきの湯」の成分

泉質 ——— ナトリウム・カルシウム - 塩化物温泉

(温泉1Kg中の成分)

泉温(分析時)		66.5 °C		水素イオン濃度		7.6	
蒸発残留物		9.42g/kg		成分総計		9.03g/kg	
陽イオン	ミリグラム	陰イオン	ミリグラム	遊離成分		ミリグラム	
ナトリウムイオン (Na <sup>+</sup> )	2.721	フッ素イオン (F <sup>-</sup> )	2.2	非溶解成分			
カリウムイオン (K <sup>+</sup> )	21.0	塩素イオン (Cl <sup>-</sup> )	5.293	メタけい酸 (H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub> )	68.5		
マグネシウムイオン (Mg <sup>2+</sup> )	2.06	硫酸イオン (SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	<0.1	メタほう酸 (HBO <sub>2</sub> )	131		
カルシウムイオン (Ca <sup>2+</sup> )	686	炭酸水素イオン (HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	48.6	非溶解成分計		199	
鉄(II)イオン (Fe <sup>2+</sup> )	0.41	炭酸イオン (CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup> )	0.14	溶解ガス成分			
マンガンイオン (Mn <sup>2+</sup> )	0.35	臭素イオン (Br <sup>-</sup> )	22.1	遊離二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	29.6		
アルミニウムイオン (Al <sup>3+</sup> )	0.37			遊離硫化水素 (H <sub>2</sub> S)	0.0		
	計 3.432		計 5.366	溶解ガス成分計		29.6	
その他の微量成分	ミリグラム	微ひ素	0.006	銅イオン	検出せず	鉛イオン	検出せず
		微水銀	検出せず				

分析年月日 平成 7 年 7 月 12 日 分析機関 群馬県衛生環境研究所

浴用の適応症 ——— 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、  
 冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病。

浴用の禁忌症 ——— 急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、  
 高度の貧血、その他一般的に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)。